

5 年齢別常用求人・求職・就職状況

常用（含パート）

28年3月

	新規求人数		月間有効求人数		新規求職 申込件数	月間有効 求職者数	就職件数	新規求人倍率		有効求人倍率	
	就職機会 積み上げ方式	求人数均等 配分方式	就職機会 積み上げ方式	求人数均等 配分方式				就職機会 積み上げ方式	求人数均等 配分方式	就職機会 積み上げ方式	求人数均等 配分方式
年齢計	63,494	63,494	191,364	191,364	37,410	150,669	10,454	1.70	1.70	1.27	1.27
19歳以下	1,322	6,589	3,367	19,933	727	2,359	161	1.82	9.06	1.43	8.45
20～24歳	7,058	7,168	18,905	21,876	3,989	13,457	913	1.77	1.80	1.40	1.63
25～29歳	8,869	7,085	26,913	21,643	4,909	18,900	1,142	1.81	1.44	1.42	1.15
30～34歳	7,487	6,731	23,324	20,515	4,095	16,455	1,023	1.83	1.64	1.42	1.25
35～39歳	6,225	6,033	20,310	18,183	3,541	15,216	1,055	1.76	1.70	1.33	1.19
40～44歳	7,012	5,527	21,432	16,639	4,346	17,717	1,294	1.61	1.27	1.21	0.94
45～49歳	6,015	5,237	19,140	15,728	3,973	17,009	1,320	1.51	1.32	1.13	0.92
50～54歳	4,870	5,169	15,900	15,552	3,253	14,336	1,046	1.50	1.59	1.11	1.08
55～59歳	4,093	5,159	13,384	15,531	2,587	11,542	880	1.58	1.99	1.16	1.35
60～64歳	4,492	4,641	14,134	13,584	2,742	12,100	890	1.64	1.69	1.17	1.12
65歳以上	6,051	4,155	14,555	12,180	3,248	11,578	730	1.86	1.28	1.26	1.05

年齢計	63,494	63,494	191,364	191,364	37,410	150,669	10,454	1.70	1.70	1.27	1.27
24歳以下	8,380	13,757	22,272	41,809	4,716	15,816	1,074	1.78	2.92	1.41	2.64
25～34歳	16,356	13,816	50,237	42,158	9,004	35,355	2,165	1.82	1.53	1.42	1.19
35～44歳	13,237	11,560	41,742	34,822	7,887	32,933	2,349	1.68	1.47	1.27	1.06
45～54歳	10,885	10,406	35,040	31,280	7,226	31,345	2,366	1.51	1.44	1.12	1.00
55歳以上	14,636	13,955	42,073	41,295	8,577	35,220	2,500	1.71	1.63	1.19	1.17

年齢計	63,494	63,494	191,364	191,364	37,410	150,669	10,454	1.70	1.70	1.27	1.27
44歳以下	37,973	39,133	114,251	118,789	21,607	84,104	5,588	1.76	1.81	1.36	1.41
45歳以上	25,521	24,361	77,113	72,575	15,803	66,565	4,866	1.61	1.54	1.16	1.09

（注） 年齢別の求人倍率及び求人数は、次の2つの方法により集計を行っている。

「就職機会積み上げ方式」

個々の求人について、求人数を対象となる年齢階級〔5歳刻みの11階級〕の総月間有効求職者数で除して当該求人に係る求職者1人当たりの就職機会を算定し、全有効求人についてこの就職機会を足し上げることにより、年齢別有効求人倍率を算出する。年齢別月間有効求職者数は、年齢別有効求人倍率に年齢別月間有効求職者数を乗じて算出する。なお、新規求人倍率及び新規求人数も同様の方法により算出する。（この際、月間有効求職者数の代わりに、新規求職申込件数を用いる。）

平成18年7月分より公表。

「求人数均等配分方式」

求人の対象年齢の種類（対象年齢がどの年齢階級〔5歳刻みの11階級〕にまたがるかにより66通りに分類）ごとに、求人数を対象年齢に相当する各年齢階級に均等に配分して、年齢別の月間有効求職者数を算出し、これを年齢別の月間有効求職者数で除して、年齢別有効求人倍率を算出する。新規求人倍率及び新規求人数についても同様の方法により算出する。